

氏名	五味葉子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	子どもの健康福祉学、健康、幼児体育				
学位	博士（人間科学）				
学歴	2017年早稲田大学人間科学研究科博士前期課程修了、2023年早稲田大学人間科学研究科博士後期課程修了				
経歴	2014年7月 株式会社大塚商会（スタッフ職）、2024年4月 埼玉県立大学 助教～現在に至る				
所属学会（役職）	日本レジャー・レクリエーション学会（理事）、日本保育保健学会、日本食育学会（理事）、日本幼児体育学会、国際幼児体育学会（理事）、日本子ども家庭福祉学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	外で遊ぶ子は、よく育つ	共著	あり	大学教育出版、184ページ	前橋 明編著／五味葉子ほか	2026.01
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	東京都江東区学童保育を利用する児童の外あそびおよび生活習慣の実態と課題	共著	あり	レジャー・レクリエーション研究(108), pp.15-25	○門倉洋輔・五味葉子ほか	2026.03
2	幼児の生活習慣と自治体の取り組み 一長野県小布施町の実態一	共著	あり	子どもの健康福祉研究37, pp.79-84	○五味葉子・関口和人	2026.03
3	東京都フリースクールにおける児童・生徒の生活習慣の実態報告	共著	あり	子どもの健康福祉研究37, pp.92-101	○五味葉子・門倉洋輔	2026.03
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	フリースクール児童・生徒の生活習慣と活動様式に関する研究一外あそびの実態と課題一	共同	日本レジャー・レクリエーション学会 第55回学会大会（福岡県）	○五味葉子・門倉洋輔	2025.12	
2	フリースクールに通う児童・生徒の運動時間と生活習慣の関連一活動内容の特徴を含めて一	共同	国際幼児体育学会第6回大会（大阪府）	○五味葉子・門倉洋輔	2025.12	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	国際幼児健康デザイン研究所 第59回 幼児の健康づくりセミナー	単著	講話、オンライン開催	○五味葉子	2026.03	
2	第22回すこやかキッズ支援全国セミナー	単著	基調講演、埼玉県立大学	○五味葉子	2026.03	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省科学研究費基金（研究活動スタート支援）	客観的な睡眠データを用いた幼児の生活リズム向上のための園内活動の創出		研究代表者	2024.09～2027.03	
2	全国保育士養成協議会（令和7年度学術研究助成）	保育者養成校学生の生活習慣の実態と課題		研究分担者	2025.07～2026.03	
3	日本レジャー・レクリエーション学会（令和7(2025)年度研究助成金）	フリースクールに通う児童・生徒のレクリエーション活動と生活習慣の実態と課題		研究分担者	2025.04～2026.03	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育内容「健康」の指導法	○	15	発達・発育を大切にしたい運動あそびの実践と、幼児期の健康理論の両方が繋がる講義とした。
2	保育内容「身体表現」の指導法	○	15	模倣あそびから表現あそびへの発展への繋がりを意識した実践と、表現あそびの創作を行った。
3	幼児と健康	○	15	知識や理論をベースとした演習で手を動かしたり、グループワークを行ったりすることで実践的な講義とした。
4	幼児と表現（身体表現）	○	15	年齢別の運動あそびから、模倣あそび、表現あそびと段階を経た表現活動で授業を構成し、表現しやすい環境づくりを行った。
5	保育実習ⅠA事前事後指導	○	10	3年次生を対象に、保育所における保育について学びを深めると共に、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
6	保育実習Ⅱ事前事後指導	○	12	4年次生を対象に、保育所における保育について学びを深めると共に、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
7	保育実習ⅠB事前事後指導		3	3年次生を対象に、施設における保育や福祉について学びを深めると共に、実習で必要になる保育技術の指導を行った。特に、福祉での学びを保育に活かすことを中心に事後指導を行った。
8	保育実習Ⅲ事前事後指導		13	4年次生を対象に、施設における保育について学びを深めると共に、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
9	子ども若者支援		4	オムニバスにて「子どもの健康的な生活習慣」・「子どもの健康に関するQ & Aに基づく保護者支援」を担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	教育実習Ⅰ		5日間、1コマ	2年次生を対象に、実習前後の指導と訪問指導を担当した。初めての専門実習のため、体調や連絡などを密に行った。
2	保育実習Ⅱ		10日間	4年次生を対象に行われる保育所における実習指導を行った。保育所の実習の訪問指導を行った
3	保育実習ⅠA	○	10日間	3年次生を対象に、保育所における実習指導を行った。科目責任者として、実習依頼後の諸手続きを行い、訪問指導も担当した。
4	保育実習Ⅲ		10日間	4年次生を対象に、保育士取得における施設における実習の、訪問指導を行い、保育所との違いを掴めるよう指導した。
5	保育実習ⅠB		10日間	3年次生を対象に、保育士取得における施設における実習に関する授業を行なった。
6	教育実習Ⅱ		15日間、1コマ	4年次生を対象に、模擬保育へのフィードバックと、補佐として、訪問指導を行った。
7	ヒューマンケア体験実習		4日間、6コマ	1年次生を対象に、施設とのコミュニケーションを密に、初めての実習が安心して進められるよう、やるべきことや心構えなど、丁寧に伝えながら進めた。また、訪問指導も行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.04～12	主指導 3名	副指導 3名
2	修士論文	2025.04-2026.03	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 1名

(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	子どもの健康福祉学（オープンカレッジ講座・全3回）の講師	2025.10・12, 2026.02	専門職・卒業生向け講座として、子どもの発達・発育のための生活リズム、睡眠、運動、外あそびの大切さ等の講座を実施した。	
2	さいたまっこ親子で楽しむ運動あそび（オープンカレッジ講座・全3回）の講師	2025.11, 2026.01・03	3～6歳の幼児とその保護者を対象に、親子で家でもできる運動あそび、身近なものを使ったあそび等を参加者で行った。	
3	アルファ医療福祉専門学校 非常勤講師	2025.10～2026.02	「表現とこどもの運動」にて全15回の実技講座を担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	土曜参観・家庭教育学級	長野県小布施町	乳幼児の生活リズムと家庭で出来る活動実践（講演）	2025.05
2	所沢市こどもの健全育成活動	埼玉県所沢市	ところっこ親子で楽しむ運動あそび（講師・全8回）	2025.04～
3	幼児体育指導者養成講習会（東京）	国際幼児体育学会	指導者養成講座（外あそび推進、運動あそび等）	2025.07
4	幼児体育指導者養成講習会（東京）	国際幼児体育学会	指導者養成講座（外あそび推進、運動あそび等）	2025.08
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本レジャー・レクリエーション学会		理事・事務局会計担当	2023/04～2026/03
2	日本食育学会会議		理事・編集委員会	2023/06～2027/05
3	国際幼児体育学会		理事・事務局	2024/09～2026/08
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			内容 年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会（就職関連WG担当）		2025.04～2026.03
2	大学広報活動	広報つなぐ編集委員		2025.05～2026.09
3	大学広報活動	オープンキャンパスにて模擬授業の実施（6/8）		2025.06
4	学科等における委員会等	ホームカミングデーの運営		2025.10
5	学生支援	学年担任（3年生・20名）による面談ならびに就活対策の個別学生対応		2025.04～2026.03
6	学科等における委員会等	学科活動基金		2025.04～2026.03
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	子ども支援功労賞	インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク		2026.03
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			